

令和4年10月22日開催 がん医療に関する市民公開講座の主なアンケート結果と回答

	講演への感想・質問等	回答
1	・がんを内視鏡でとるくわしいこと。	・がんを内視鏡で切除する場合の適応については、癌腫によっても異なりますが、早期癌でリンパ節転移などの無い症例になるかと思えます。
2	・T病院の泌尿器科でMRI検査の際、直腸下部にがんがあり、直腸近くのリンパ筋腫大、両側せけい部リンパ筋腫大があり、T病院では治療不可でM大学病院でPET・CT等の検査を受けて検査結果の説明+インフォームドコンセントを予定しています。この時点でセカンドオピニオンを受ける事は可能でしょうか。	・部進行直腸癌にて、M病院にてPET-CTで精査との事ですが、おそらく術前に放射線化学療法が必要かと思われます。腫瘍を縮小させてから腹腔鏡あるいはロボット支援での手術になるかと思えます。 また不明な点があれば患者相談窓口（患者支援センター：059-259-1211（代））へご相談下さい。
3	・前立腺ガンとかぼうこうガンはさいぼうを取って検査してもらいましたが、内視鏡で見るともやもやしたのが見えてわかりません。ガンが見つげにくいのでしょうか。	・「がん」である、と確実に診断するためには、組織を採取し、顕微鏡でがん細胞があることを確認して初めて、がんと診断できます。肉眼的（見た目）な所見では、確定診断にはなりません。
4	・がんゲノム医療についてもっと詳しく教えてください。費用や期間など。	・がんゲノム医療につきましては、三重大学医学部附属病院と連携して行っております。費用や三重大学医学部附属病院への受診方法につきましては、患者相談窓口（患者支援センター：059-259-1211（代））へご相談下さい。
5	・抗がん剤、分子標的薬、免疫…それぞれの用途とか効果、副作用について知りたい。	・抗がん剤、分子標的薬、免疫療法などの副作用については、時間の都合上、あまり説明なかったかと思えます。今後そのようなテーマでの開催時に行いたいと思います。またご参加宜しくお願ひ申し上げます。
6	・人体の深部体温が35℃台だと癌細胞が増殖する環境を作っている聞いたことがあります。私も体温が低い方なので心配ですが、体温上昇への方法はありますか？	・がんの発生にはいろいろな要因があります。低体温だけに限られた事ではないので、適度な運動をして、ストレスを貯めない生活が重要かと思えます。
7	・量子線治療の事、X線治療の事、抗がん剤の事	・量子線治療、放射線治療、抗がん剤治療などにつきましては、また機会ありましたら市民公開講座で取り上げたいと思います。
8	・松下さんのお話のAC療法とは？	・AC療法とは、乳がんの治療法の名称で2種類の抗がん剤を組み合わせる使用することから使用する薬剤のAdriacin（アドリアシン）とCyclophosphamide（シクロフォスファミド）の頭文字をとって、AC療法と呼ばれています。
9	・治療中の食事について、たんぱく質を充実・補給するため肉の中でもとり肉・ぶた肉の使用・献立が毎日とり入れられていますね。それらを少しでも食べられるような調理工夫はどのようにしていますか？同じようなパターン調理で食べにくいと思いました。	・鶏肉では、モモ肉はやわらかく仕上がりますので、どんな調理方法も適していると思えます。ささみや胸肉は加熱をしますとバサバサになりやすいため、肉全体をコーティングする調理方法がお勧めです。例えばピカタ、ムニエル、揚げ物などです。やわらかく食べやすいと思えます。豚肉や牛肉は、薄切りのものを選んでいただき、炒めもの、しゃぶしゃぶなどの調理方法がお勧めですが、その際は加熱しすぎないように注意してください。やわらかく食べやすいと思えます。また、お好みにもよりますが、いつもの味つけに加えて大葉などの香味野菜や、レモン汁など柑橘類を使用されますとアクセントになり食べやすくなると思えます。
10	・癌治療中の患者さんが健常者よりカロリーが必要なのは何故ですか？	・説明不足で申し訳ありません。がん細胞は通常の細胞と比べて、多くのエネルギーを消費します。また、がん細胞は筋肉の中のたんぱく質を分解し、これを栄養として成長していくため、筋肉量も減ってしまいます。がん治療中では体全体が、がんそのものだけではなく、手術や薬物療法、放射線治療による様々な影響を受け、痩せやすい傾向にあります。痩せてしまうと、ますます筋肉量が減少し、全身のたんぱく質の量が減ってしまいます。たんぱく質は体の組織や免疫に関わる物質の材料となりますので、たんぱく質の量が減ると体力や免疫の働きが低下し、がんの再発・転移や感染症が起こりやすくなることもわかってきています。このようなことを防ぎ、体力や免疫の働きを高いレベルで維持するためには、しっかり食べることが大切です。そのため、健常者よりエネルギー量を多くとる必要があります。薬物治療中でも、1日3食きちんと食べていると、副作用が出にくいことがわかっています。
11	・医療ソーシャルワーカーの方に相談するのは、診療費というか費用はかかってくるのでしょうか？	・医療ソーシャルワーカーへの相談に対して、基本的には費用をいただく事はありません。
12	・こぶ茶は塩分が多くないか？	・薬物治療による副作用のひとつである「味覚障害」が現れた際に、昆布茶を食前に飲んでいただくと、味覚障害が緩和されることがありますので紹介させていただきました。残念ながら、皆さん全てに効果があるとはお約束出来ませんが、一度お試しくださいとさせていただきます。確かに昆布茶には塩分が多く含まれますが、副作用は一時的なもので長期継続する事はありませんので、副作用の期間内だけ飲むことは、大きな問題はないと思えます。何よりも大切なことは、治療期間中は食事をなるべく落とさずに、食事を維持するよう努めていただくことです。
13	・がん患者の家族が本人とどのようにかかわっていけばよいのか知りたいです。（メンタル等の支援も含めて教わりたい）様々な病院の方がアドバイスいただける中、どうしても本人が前向きに、オープンになれない時（治療をはじめた頃は特にひきこもりがち）離れている家族はどうすればよいのでしょうか？	・一人で抱え込むことはしないように、困っていること、心配なこと、不安なことがあれば、一緒に悩んで解決していくよ、と伝え続けることが大切だと思います。ご本人が前向きになれない時は、現実的な正論や正しい意見を言うのではなく、前向きになれない気持ちに寄り添うことが大切です。離れているご家族としては、心配なゆえについつい励ましたり、元気づけてしまいがちですが、そうすると余計に自分の気持ちは誰にも分ってもらえないとご本人が孤独感を募らせることに繋がってしまう可能性もあります。ただ、日常生活に支障が生じ、引きこもった状態が数か月以上続くのであれば、タイミングを見て、一度主治医の先生に相談してみても良いかもしれません。当院の患者支援センターでは、ご家族からのご相談にも対応させて頂いております。
14	・私はがんの手術を当院で3回受け、不安は続き痰が出ると再発では！とか悪い方へと考えは行ってしまいます。色々なところへ相談に行きましたが、良い回答は得られません。当院ではどこに相談したら良いのでしょうか？	・がんの手術を何回も受けておられ、大変かと思えます。いろいろ不安なことかと思えます。当院では患者相談窓口（患者支援センター：059-259-1211（代））がありますので、悩みなどあればご相談下さい。
15	・手術の内容によっては、相談を重ねることが可能な場合と早く処置対応をしなければならぬ場合があると思いますが、その場合、所を変えることを許可して頂ければありがたいです。	・手術説明や病状説明など、外来や病棟で行っておりますが、希望があれば場所を変えてさせて頂きますので、その場合には担当医か担当看護師に申し出て下さい
16	・在宅医療との連携がどの科、医師でもスムーズに行え、きがねなくお願いできるようになると、がんになっても家で生活し、いざとなったら入院できるという安心感も持てると思います。今はなかなか言い出さずらいと感じることがあります。	・ご希望がある場合、遠慮なくスタッフに申し出て下さい。

	講演への感想・質問等	回答
17	・専門家の方からお話を聞いてよかったです。話の中で専門用語が出てわからないことがあったので、医療知識がない者でもわかるように詳しく話していただけたとうれしいです。	・専門用語がありわからないことがあったとの事ですが、次回からはなるべくわかりやすい言葉を考えたいと思います。
18	・本日、駐車場が開放となっていました。今後も開放が続くのですか。診療で1時間（待ち時間を含め）は常にかかり必ず今迄は100円が必要でした。駐車場の無料開放を望みます。診療を受ければ必ず会計が発生します。それと連動すればと思いますが検討ください。	・駐車場の無料開放は、今回の市民公開講座の時のみとなりますので、ご理解頂きますようお願いいたします。
19	・時間的な制約により難しいかも知れませんが、フロアの方からも質問できれば尚良いと思いました。	・質問に関しては、時間の都合上割愛させて頂きました。
20	・スライドの写真・文字が後ろの方でもみやすいように出来るだけ大きくしてもらえたらと思った。	・体育館での開催にて声が聞き取りにくく、後方で席ではスライドが見え辛いなどあったかと思ひます。次回開催に向けて参考にさせていただきます。
21	・治療を始める前に薬剤師さんの説明をきいたが、実際服薬し副作用が出はじめると不安が大きくなる。その時にもう一度話す機会を作ってもらえたらと思う。	・抗がん剤開始前には、担当医と薬剤師から薬についての説明があります。開始後に不明な点が御座いましたら、担当医か薬剤師に問い合わせ下さい。
22	・市民公開講座ということでも分かりやすく聞くことができました。医療職、専門職には当たり前のことであるため、説明の時専門用語が多くわかりづらいことも多々あります。今日の講座のように説明してもらうととても安心だと感じました。今回はガン患者・家族をテーマにした講座でしたが、高齢社会の中医学も進化して高齢者、患者に対する不安、悩みも多くあると思います。※時々聞こえずらいことがありました。最近ではコロナで入院すると面会できずに本人、家族はとても、さらに不安だと思ひます。そのサポートもしていただけたら良いな…。	・コロナ入院については、感染の危険がありますので、残念ながら面会は出来ません。電話などで連絡を取り合うことは可能ですのでご理解頂きますようお願いいたします。入院中の患者さんと家族に対するサポートについては、病院スタッフが可能な範囲でサポートさせていただきます。
23	・分野をしぼってそれぞれをもう少し詳しく聞きたかった。	・前回まで各がんをテーマにしましたが、今回は趣向を変えて多職種でのがんサポートをテーマして開催させて頂きました。皆さまからの希望などを参考にして今後は癌腫別でも開催を考えていますので、詳細な病気の話になるかと思ひますので、ご興味あるようなら参加宜しく願ひ申し上げます。
24	・次回は各臓器別「がん」について、現在の程度迄、医療技術が進んでいるのか解説していただきたい。転移もありますので全体的に治癒させる為の方法等、一般の人にわかる範囲で話して下さい。	・皆さまからの希望などを参考にして今後は癌腫別でも開催を考えていますので、詳細な病気の話になるかと思ひますので、ご興味あるようなら参加宜しく願ひ申し上げます。
25	・資料をいただいたが全てではなく、スライドにない部分をメモするにもスピードが早く間に合わなかったため、全部もらえるとよかった。	・今回、お配りする資料については、膨大となるため、演者が特に訴えたいスライドのみに絞らせて頂きました。次回開催の参考とさせていただきます。
26	・すいぞう、肝臓がんと思ひますが、知り合いが医者を信じ、抗がん薬を飲み続け、腹に水が溜まり、足首、ふくらはぎもパンパンになり、医者はもう抗がん薬は飲めないし、あと数か月の命とのことでした。病院へ行く毎に1万は払ってたいへんだったと思ひます。良くならないのに、ガリガリの40kg程になる迄飲ませて、もう終末とはあんまりと思ひます。今の医療を私は信じられないです。	・がん闘病中との事で大変な状況かと思ひます。何か不安な面があれば、患者相談窓口（患者支援センター：059-259-1211（代））へご相談下さい。専門的な説明であれば、医師が相談させて頂きます。
27	・直接関係ありませんが、予定されている公開講座がありましたらチラシと一緒に入れてもらいたかったと思ひます。	・がんに関する市民公開講座につきましては、年1回の開催となっております。次回開催のテーマなどはまだ決まっておりません。当院の病院だよりなどで発表させて頂きます。
28	・会場が広いせいもあり、マイクの声が良く聞き取れなかったです。パネルで理解しました。	・体育館での開催にて声が聞き取りにくく、後方で席ではスライドが見え辛いなどあったかと思ひます。次回開催に向けて参考にさせていただきます。
29	・ガン患者の気持ちも良くわかるし（現在主人抗癌剤治療中）、他に糖尿病が有り、食事療法をとってもむずかしいし、老々介護ですから良く食べては血糖値が上がり、その間におやつを食べて（必要以上に）食べることはとても言いにくいし、私（介護する）にとってストレスがたまるばかりで、気分的につらい。	・家族のがん闘病や看病など大変かと思ひます。いろいろ悩みやストレスなどあるかと思ひます。一人で抱え込まずに、担当医や患者相談窓口へご相談下さい。
30	・父が循環器と糖尿でお世話になっています。その科の受診についてはいいのですが、他の科を受診したり検査をうけるときに、今までの病歴のようなことをいちいち問診にかかなくてはいけなくて、薬の名前とかも聞かれるけどわからない。（お薬手帳見せますが…）かかりつけなのだからカルテはあると思うのでそれで確認とかしてもらえないのでしょうか…。	・かかりつけの診療科以外の問診表への記載については、改善に向けて検討させて頂きます。
31	・津市のクーポンを使ってガン検診を受けれるとよいと思ひます。	・津市のクーポンについては、使用できるものと使用できないものがありますので、窓口担当者へ問い合わせください
32	・感染対策、アクリルパーテーション等ある面会室がほしいです。	・アクリルパーテーションでの面会については、現在は行っておりません。今後検討させて頂きます。
33	・各がんごとの市民公開講座の開催をお願いします。本日はとても参考になりました。ありがとうございました。来て良かったです。	・前回まで各がんをテーマにしましたが、今回は趣向を変えて多職種でのがんサポートをテーマして開催させて頂きました。皆さまからの希望などを参考にして今後は癌腫別でも開催を考えていますので、参加宜しく願ひ申し上げます
34	・私もがんになり、たいへん長谷川先生にはお世話になりました。	・貴重なご意見ありがとうございます
35	・途中までしか参加できませんでしたが、リハビリのたのしかった。	・貴重なご意見ありがとうございます
36	・多くの方が興味を持ち集まっていることに感心した。こういったサポート体制があることを知り安心の材料になると思ひた。知らないこと、何がわからないのかもわからない、そういった小さい困り事、心配事を相談出来る場所があることはすごく安心だと思ひた。	・貴重なご意見ありがとうございます
37	・がん患者にとって、大変有益で良い内容でした。色々な角度から、がん患者にとって大変参考になりました。今後は各論として、色々ながんについての講演を期待します！	・前回まで各がんをテーマにしましたが、今回は趣向を変えて多職種でのがんサポートをテーマして開催させて頂きました。皆さまからの希望などを参考にして今後は癌腫別でも開催を考えていますので、参加宜しく願ひ申し上げます。
38	・治療についての疑問があっても具体的に教えてほしい事や聞くというハードルが高い事がよく言われていますが、今回の市民公開講座での参加で病院と患者との関係が身近になったように思ひました。	・貴重なご意見ありがとうございます。
39	・治療と緩和ケアが同時進行とは知らずにいました。良く判りました。	・貴重なご意見ありがとうございます
40	・今回の市民公開講座はたいへん良かった。患者をささえる医療とは？に対応した内容でした。	・貴重なご意見ありがとうございます
41	・がん患者を持つ一人として、本人の支えになれるよう私自身もしっかりサポートし健康面においても一緒に考えていきたいと思ひました。	・貴重なご意見ありがとうございます

	講演への感想・質問等	回答
42	・栄養士さんの話を聞いて、去年入院した時の事を思い出しました。食べれない食事の時に相談すれば良かったと思いました。	・貴重なご意見ありがとうございます。
43	・現在ガン治療で三重中央にかかっています。先生やスタッフの方が親切で気持ちよく通院できています。ありがとうございます。又の企画をお願いします。すごく勉強になりました。	・貴重なご意見ありがとうございます。
44	・私のガンの体験はとても同感する事が多さんありました。私も今治療中ですので前向きに頑張っていくつもりです。いつも先生やスタッフの方に感謝しています。	・貴重なご意見ありがとうございます。
45	・多方面からのお話を聞けてとても参考になりました。 ・チーム医療の大切さを改めて知り、治療を支えていただけることへの感謝。	・貴重なご意見ありがとうございます
46	・主人がガンでなくなりガンがこわくてしかたがない。もっと知識があれば早期発見できたのではと後悔しかない。（いろいろこのような講座に参加していれば…）無理やりでも病院に行っていたと思う。今後にかきたい。	・貴重なご意見ありがとうございます
47	・市民公開講座に参加して大変勉強になりました。検診担当医によるお話、解説等で「がん」に対する罹患した場合の心構え等、看護師さんの「がん」罹患経験も聞けてよかったです。	・貴重なご意見ありがとうございます。
48	・定期的受診で月1回通院しております。各種検査→医師の受診→帰宅の通常通院で様々ながんについて不安な状況です。今回の受講で通院時に各種専門的な相談体制が整備されていることを知り、今後は気軽に対応させて頂けるのかなと感じました。	・貴重なご意見ありがとうございます。受診後などで、不安な気持ちなどで疑問点ありましたら、当院患者相談窓口（患者支援センター：059-259-1211（代））へご相談下さい。
49	・松下先生のお話が特に心にのこりました。ありがとうございました。お話の中で「入院中腰がいたくていなくて看護師さんに相談したら手でマッサージを看護師さんがしてくれました。その時に苦しい時の本当の看護は注射だけでなくてやっぱり人の手のぬくもりなんだなあ」と感じたという内容ありました。コロナ対応をふくめて、看護師さんのお仕事は本当に激務だと思います。その激務な様子は患者や患者の家族からもよくわかります。看護師さんがたおれてしまったら医療現場がこわれてしまうのもよくわかります。そのピリピリした看護師さんの雰囲気を感じ取れてしまうので、「ちょっとたのみたいこと」「助けてほしいこと」が伝えられなかったり、勇気を出して伝えても、対応してもらえなかったり、トーンのさがった口調で対応されたりして悲しい気持ちになることもありました。コロナで家族とは会えない時だったので、あまり看護師さんにいろいろお願いするときらわれたり嫌がられたりするとそちらの方がつらいからがまんすることがたくさんありました。トイレのこと、食事のこと、病院という一番守られたところで看護してもらっているのに、心細く不安で、看護師さんの顔色や口調を気にしてすげす毎日でした。同時に生死をあずかる仕事に就かれる方々の人間力と専門性の尊さを感じたところです。看護の一つとして傾聴や心配り、口調なども重要なことだと思いました。本日の松下先生のお話をきいて、次に入院することがあれば勇気を出して治療の苦しみや入院中にサポートしてほしいことを伝えていこうと思いました。本当にありがとうございました	・貴重なご意見ありがとうございます。
50	・手術の体験談を聞き、自分もソウグウしているので思いがよみがえりました。検診は本当に必要ですね。日ごろの健康に感謝をし、自己管理に努めたいです。	・貴重なご意見ありがとうございます。
51	・良くわかる話をして頂いてありがとうございます。色々な病気があるでしょうけど明るくしてらっしゃる松下真紀さんあつぱれです。私も明るく生きていきます。まけない。ひらがなばかりでごめんなさい。	・貴重なご意見ありがとうございます
52	・変遷について、昔（10年前以前）と今じゃOPのやり方、術前までの治療方法が大きく違うことが詳しく理解出来ました。治療の中でも何種類も数があって、医療現場で介護職として働いていた私にとってとても良い事を沢山聞きました。また家族が過去にガン診断を受けていたこともあり、この事は家族に伝えたいと思いました。 ・サポートについて、栄養管理の件でガン患者本人の食事は今でも悩んでいます。ベースト食事を嫌がったりするのでどうしたら良いか…。沢山教えて頂いてありがとうございます。作業療法にて関節が痛くても痛みのない程度の運動や散歩などの運動も有効って事が解って良かったです。	・貴重なご意見ありがとうございます。
53	・講演①で湯浅先生のガン医療の話はわかり易くて良かったです。最新の医療を保険適用の範囲限定ではありましたが、知識としてふれあえたのも良かったです。口頭での説明でしたのでもう忘れましたが（笑）	・貴重なご意見ありがとうございます。
54	・私は令和2年2月に横行結腸癌の手術を湯浅医師に受けました。その後から普通の生活が元気に出来、楽しく暮らせております。89歳のため、先々は自然にまかせて過ごしたいと今日のお話を聞いて安心しました。ありがとうございます。	・貴重なご意見ありがとうございます。
55	・抗がん剤でも完全なものはまだないですね。実の姉も、あと半年しか生きられないと診断されなくなりました。 ・妻もがんになりましたが、今は元気になりましたが、今は元気になりました。	・貴重なご意見ありがとうございます。
56	・がん患者の家族です。臨床心理士の増井さんのお話に救われました。ありがとうございます。	・貴重なご意見ありがとうございます。
57	・御院での市民公開講座を開いて戴き心から感謝しています。今迄は三重大学医学部の講座を聞き三重県文化センター等の遠方遠行していましたが、高齢になり遠方迄の運転も不安になって来ましたので、本日は本当に良い1日でした。私も御院の泌尿器科でガンを治して戴きました。新聞や本を読むのも大好きですが、今日は心の栄養を賜りました。	・貴重なご意見ありがとうございます。

※アンケートにご協力いただきありがとうございます。次回開催の参考とさせていただきます。多くの感想やご質問頂きましたが、主な質問を掲載しておりますのでご了承ください。